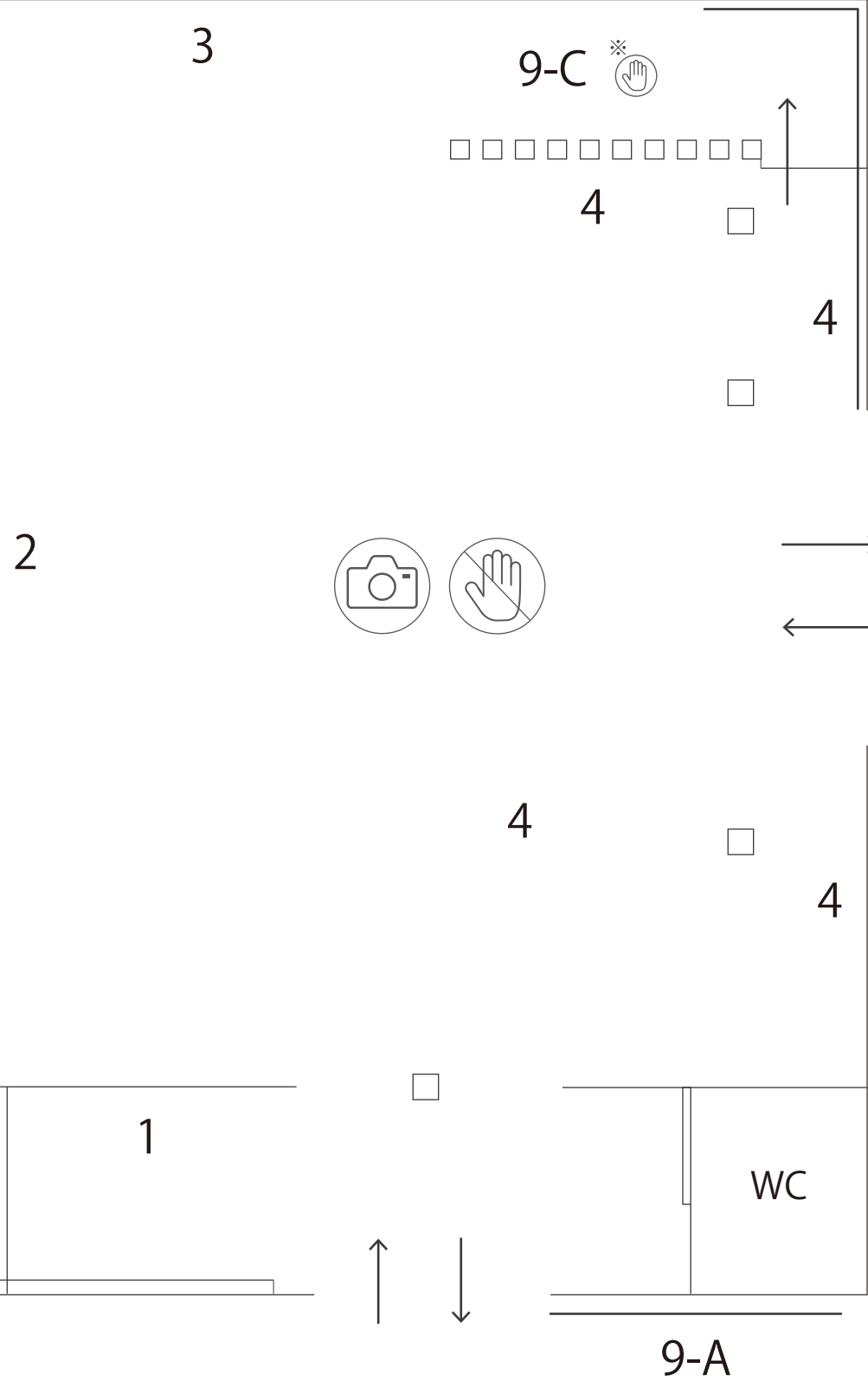




1. あちらとこちらの境界線？

2025 / インクジェットプリント、マット紙 / 96×76
photo by Yoichi Nakamura

この写真は、本展に参加したフォトグラファーの中村ヨウイチ氏がグループホームに宿泊した際にスマートフォンで撮影した1枚です。

共有のリビングに即席のカーテンとベッドを置いた寝床からの視点。また、普段と違った雰囲気を感じたのか、カーテンの隙間から顔を出す利用者さん。

この一場面は4名のアーティストが共有した光景だと思います。これからご覧いただく多様な作品は、こうした光景とともに利用者さんや職員との何気ない日常から生まれました。

会期中は施設関係者も在廊しております。私たちの日常について気軽に尋ねていただければ幸いです。作品を見ながら言葉を交わせたと思います。

夏目 とも子

美術家 兵庫県西宮市生まれ



- 4. しかく 4 (four)
2025 / PP アングル、カッティングシート、フェルト、布、スチロール板、段ボール、のぶさんが折った紙、LED ライト

2025 年 8 月 26 日夏の夜、グループホーム「ぱれっと」に宿泊。誘導灯の緑を目の奥に感じながら眠ると、夢を見た。出口か入口か分からないゲートが目の前に次々に現れる。宇宙空間にいるような浮遊感、疾走感、焦り。夢と知りながら見る夢は久しぶりだった。階段を下りる物音がして目覚める。しばし頭上の誘導灯を見つめていると、再び夢に引き摺り込まれた。夢か現かである。

- 2025 「時間にさわる」ワークショップ、浜松市鴨江アートセンター 1 階ロビー
- 2025 「やわらかな積層と漂流」フェルケール博物館 1 階ギャラリー、静岡市
- 2024 「探す、刻む、包みこむ」ツインギャラリー蔵、浜松市
- 2023 - 「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展 第 23~25 回」掛川市

その場所にかつてあった役割や人の暮らし、時間へ想像を馳せ、色や素材を幾層にも重ねる行為を通して、今を考える作品を制作。既存建築物を対象にしたプロジェクト作品「壁ワークス」では浜松市内数か所に作品を設置

中村 ヨウイチ

フォトグラファー 1977 年 浜松市生まれ



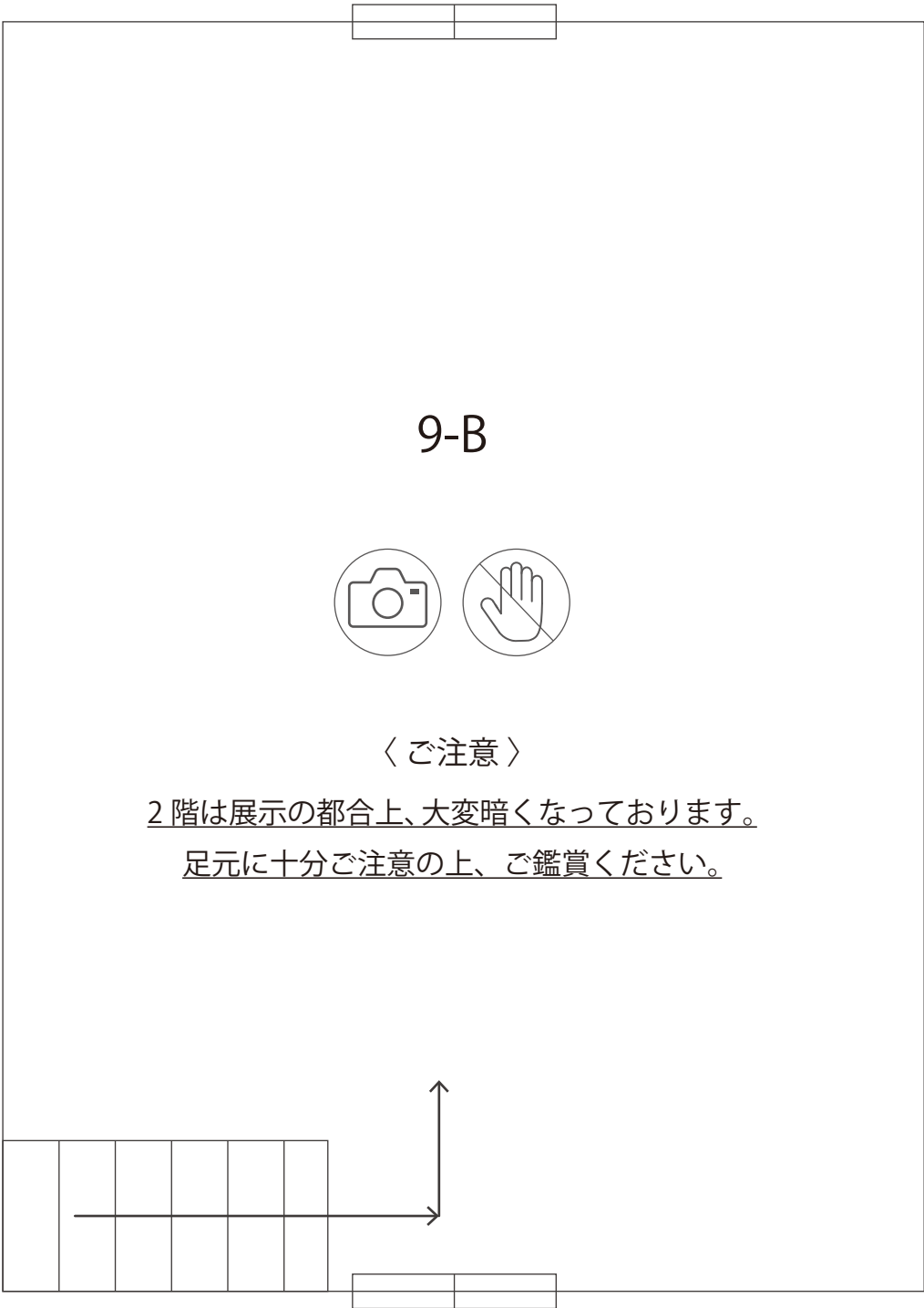
- 2. no title No.1~5
2025 / 画材マット紙 / A0
- 3. no title No.1~5
2025 / 画材マット紙 / A3

本展に参加するにあたり、なるべく生活者、支援者のありのままを捉えたいということと、企画者、関係者、観覧者のあいだで会話や対話が生まれるような制作物を披露できたら、と考えました。

結局、中村の制作物は、訪れた場所の僅かな時間の中で捉えたほんの一部に過ぎません。充分濃い体験をしたことは間違いありませんが、「まだまだこんなもんじゃないよ」というのも想像できます。

この福祉法人が歩んできた歴史や膨大なエピソードを、作品を通して、擬似的にでも実感していただけたらという思いです。もしも興味が湧けば、現地に足を運んでみて体験してみるのもいいかもしれません。

- 2010 年より浜松市を中心に写真撮影の活動を開始する。これまでに冊子・雑誌・ウェブ媒体、建築などのカメラマンとして携わる。2011 年からは独自の写真館企画『kamera!kamera!kamera!』を主宰する



杉浦 麻友美

身体表現者 浜松市生まれ



ameblo

パフォーマンス

(順不同・実施不定)

- ・ 溢れ出す境界線
- ・ 透き通るもの
- ・ 手のひらのぬくもり
- ・ 映し鏡
- ・ 遊びの風景

1/1 (木・祝) — 4 (日)

13:00 —

この世界と出会えたことで得たあたたかい気持ち、生きることの体感。
あなたに伝える一端になれたらうれしいです。

近年の活動

二川駒屋アートプロジェクト (豊橋)

浜松 OpenArt、路上演劇祭 in 浜松など。

現代舞踊の佐藤典子、モダンダンスのアキコ・カンダに師事。近年は場、人、
作品に触発されたコラボレーションやアートプロジェクトにて活動中。

つじむら ゆうじ

アーティスト 1967 年生まれ



Instagram

9 . 参加型インスタレーション

ホームのひかり Light of HOME

※ 本作品は、グループホーム滞在時に利用者、職員、本展関係者に
参加いただいた作品です

9-A . ひかりをつなぐ Connecting the Light

2025 / 木材、不織布、アクリル絵の具、金属クリップ、金物

– 参加アーティスト –

斉藤克行、西野実杏、にしのみく、西野直美、今田小百合、今田久美子、
里見のぞみ、タカバヤシユキヒロ、大城まゆみ、太田祐子、のぶ、
ようこ、小島、川崎友也、河合、松下、鈴木、金田、橋本、恒川、山崎、村松、
日比野、津ヶ谷、村澤、塚本、大村、和田未来、松本知子、熊谷有加、大橋、
すずや

9-B . くろのひかり Light of the Black

2025 / 画用紙、布、木材、金属板、金属クリップ

– 参加アーティスト –

すずや、タカバヤシユキヒロ、大橋、松下、夏目とも子、高橋

9-C . Input & Output NOTE

2025 – 2026 / 手帳、ボールペン

わたしたちの " ホーム " はどこなのでしょう。わたしはこの地球に生ま
れてその陸地を棲家 (すみか) とし 1 0 0 年ばかりの建造物を " ホーム
(家)" と認識しつづけています。キャンプにおけるテントや寝袋も 1 日
だけのホームと言えるのかもしれない。社会的関係性が独自な人のため
の「グループホーム」に 2 4 時間滞在し、あらゆる生命のためのホーム
としての宇宙と、アート作品の居場所であるギャラリーというホームに
想いを馳せながら、野球のホームベースや SNS のホームボタンに代表
される五角形を表現の母体としました。そこに住まうエネルギー (生命)
を " ひかり " として捉え再構成し、 " 間 "(ま) として配置を試みる作品
です。

1991 武蔵野美術大学空間演出デザイン科 中退

2007 アーティストを志す

2008–2019 「菊アート」(東京都巣鴨真性寺)

2017–2025 「あなたとわたしとみんなのハートをつなぐ絵」(埼玉・東京・
茨城・浜松市の各公園、大子アートウィーク、浜松市鴨江アートセンター)

2022–2025 「ボンヤリ・ポーっとする」(浜松市内各所、路上演劇祭 in 浜松、
浜松市鴨江アートセンター)

●主催 社会福祉法人 ひかりの園

●共催 浜松市社会福祉事業会、NPO 法人地域生活応援団あくしす、社会福祉法人復泉会、令和 7 年度はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金採択事業